

鑑賞プログラムのための ふろく

ここからは、一部の指導案と関連し、授業で使うことができるワークシートやカードなどが掲載されています。

いずれもコピーをしてお使いいただけます。

もちろん、掲載されているアイテムを必ず使わなければ

いけないわけではありません。

授業内容に合わせて適宜お使いください。

1. かたち・いろカード

まる

しかく

さんかく

しましま

ぐるぐる

ぎざぎざ

まっすぐ

てんてん

ぐにゃ
ぐにゃ

あか

あお

しろ

くろ

きいろ

みどり

ピンク

オレンジ

ちやいろ

●● ごちゃごちゃ

●● かくかく

●● きらきら

●● ふわふわ

👂 がりがり

👂 ぱたぱた

👂 パシャパシャ

👂 ざわざわ

♡ わくわく

♡ しくしく

♡ もやもや

♡ いきいき

●● ぐるぐる

●● とげとげ

●● くねくね

●● ゆらゆら

👂 ころころ

👂 さらさら

👂 ヒューヒュー

👂 ごとごと

♡ うろうろ

♡ どきどき

♡ のびのび

♡ ぶんぶん

4. 「オノマトペ」カード

ここではオノマトペを視覚・聴覚・気持ちに分けて記載しています。

7. お話をつくらう

名前 _____
年 組 _____

番	----- ----- ----- -----
番	----- ----- ----- -----
番	----- ----- ----- -----

友達のお話を聞いて

お話をつかった感想

家族へ

20年後の
わたしへ

敬老の日

○○さんの
誕生日

先生へ

テストで
100点をとった
友だちへ

友だちと
けんかを
してしまった人へ

まだ会ったこと
のない
外国の友だちへ

8. 「とっておき！」カード

選んだカードをともだちに見られないようにしながら、アートカードから感じたことや気づいたことをもとにして読み札をつくろう！

お気に入りの1枚

名前 _____
年 組 _____

アートカードの中から「お気に入りの1枚」を選び、その作品のよさを友だちに伝えよう。

アートカードの中から「お気に入りの1枚」を探そう。そして、その理由をふせんに書こう。

- 1.机の上にカードを広げる。
- 2.「お気に入りの1枚」を探す。
- 3.「お気に入り」の理由をふせんに書く。
- 4.ワークシートにカードの番号を書く。
- 5.ふせんをカードの裏にはる。
- 6.班のみんなに伝える。

授業の最後に、「カードの裏にはったふせん」をここにはりましょう。

選んだ
アートカードのNo.

ミニ展覧会を 企画しよう

名前 _____
年 組 _____

選ばれたアートカードの中から、共通点を見つけ、班で協力して「ミニ展覧会」を企画しよう。

メンバー	カード番号	共通点→展覧会のタイトル

展覧会に行こう

名前 _____
年 組 _____

今日のめあて

各班の展覧会のタイトルとアートカードから、感じたことを伝え合おう。

1. 発表に向けて…

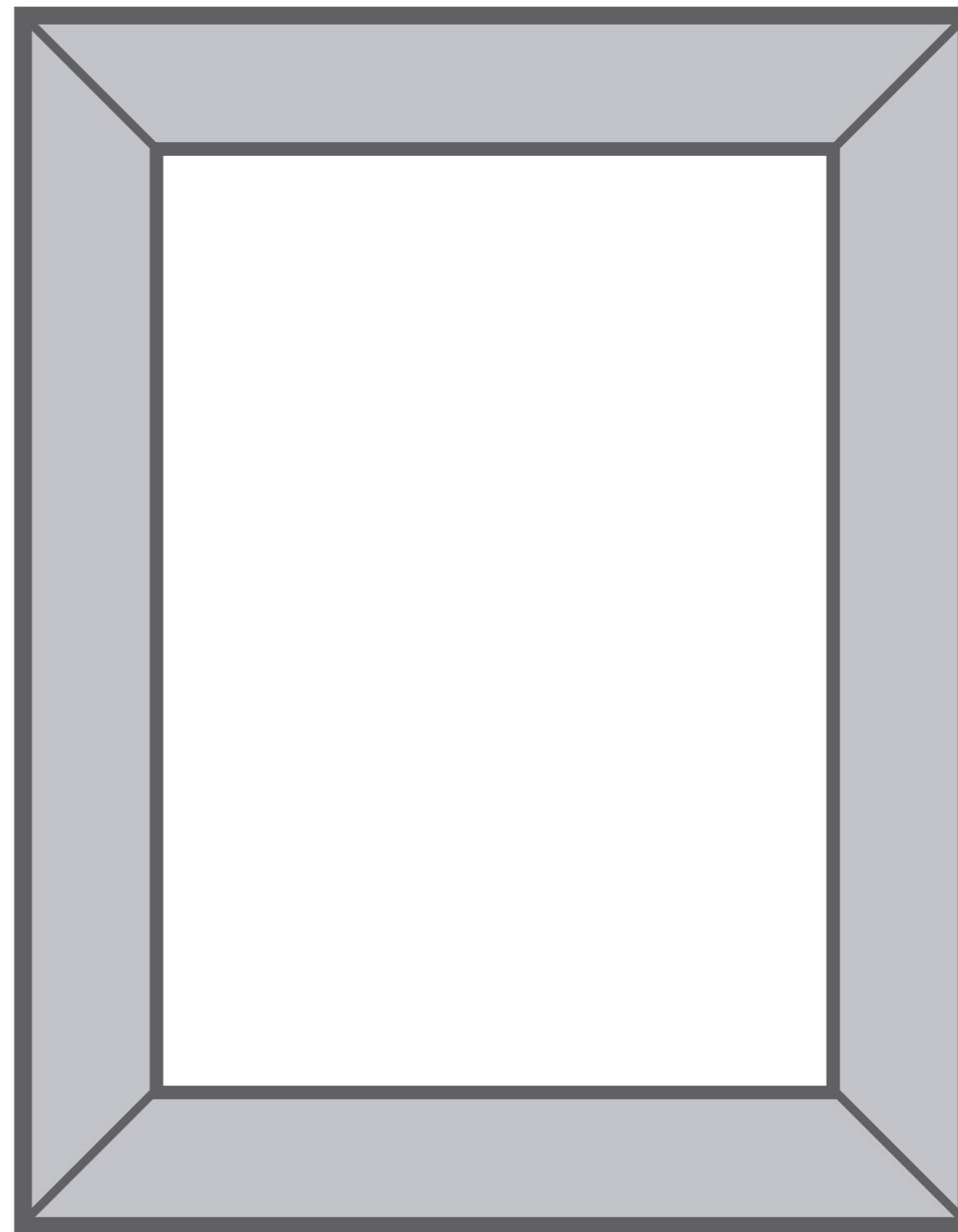
「ミニ展覧会」発表原稿例

- ・私たちの選んだカードの共通点は(形・色・イメージ)です。
 - ・(一人ずつ)私の選んだカードは、これです。ここに共通点があります。
 - ・(班長)班で選んだカードはこれです。ここに共通点があります。
 - ・(みんなで)私たちの企画した展覧会のタイトルは、「 _____ 」です。

2. 鑑賞会では…

班	感じたこと(○で囲みましょう)	理由(一言メモ)
	なるほど・びっくり・どうして?	
	なるほど・びっくり・どうして?	
	なるほど・びっくり・どうして?	
	なるほど・びっくり・どうして?	
	なるほど・びっくり・どうして?	
	なるほど・びっくり・どうして?	
	なるほど・びっくり・どうして?	
	なるほど・びっくり・どうして?	

今日の学習を通して、感じたことを書きましょう。



額ぶち

作品に合わせて、額ぶちに柄を描くこともできます。

展覧会タイトルや作品の題名を書くのに使えます。

アートカードなりきり話 — 作品から自己を見つめて —

カードを選ぼう

選んだ
アートカードのNo.

番

このアートカードがあなたに選ばれたポイントは何ですか？

カードのなかの自分を探そう

カードの中の〇〇になりきって、考えてみよう。

「私は です。」

ここはどこですか？

どんな場所ですか？

なぜそこにいるのですか？

そこで何を考えているのですか？

なぜ上のようなことを考えているのですか？

カードの中から何を伝えたいのですか？

その他

グループのメンバーの話を聞いてみよう

【発表の手順】 リーダーから右回りで行います。

【話し方】 カードを見せて、「私は〇〇です。」から始めましょう。

【聞き方】 相手の目を見て聞きます。共感することがあればうなずいたり、自分の意見と違うところを楽しむ気持ちで聞けるとよいです。質問したいことがあれば、聞いてみましょう。発表後は拍手で終了。

【付せんの書き方】 発表を聞いて、新しい見方や考え方を発見したところや、よいと感じたところなどをかいて渡します。

もらった付せんを貼る

メンバーの話を聞いて、思ったこと

意見を聞いたり、もう一度自分の選んだ作品をみて、気付いたことや発見したこと

最後に

年 組 名前